

特別区の区域のあり方に関する論点

1 特別区の再編

(1) 区域問題の性格

各区の考え方、地域特性等がさまざまな中で、一律に区域の再編を議論することができるか。できない場合、どのように対応すべきか。

(2) 住民意識

特別区の再編に関する住民意識についてどう考えるか。

(3) 特別区の特異性

区域再編を検討するに当たり、特別区には、大都市地域における基礎自治体として、一般の市町村とは異なる、考慮すべき特別な事情があるか。

(4) 規模

① 規模の上・下限、バラつき

特別区の規模の上・下限やバラつきについてどう考えるか。

② 住民自治との関係

特別区の規模と住民自治との関係についてどう考えるか。

③ 規模の指標

特別区の規模の指標として、どのようなものが考えられるか。

(5) 区域再編の必要性

① 相互連携・相互補完との関係

自治体間の相互連携・相互補完と区域再編の関係についてどう考えるか。

② 区域再編の必要性

特別区の区域再編の必要性についてどう考えるか。

③ 住民にとってのメリット

特別区の区域の再編は、住民にとってどのようなメリットがあるか。

(6) 区域再編と税源偏在

特別区の再編を行うとした場合、特別区の区域において税源が偏在していることをどう考えるか。

2 都区制度

(1) 都区制度の是非

今後も都区制度を維持すべきか。

(2) 特別区の位置付け

今回の見直しが行われた場合、特別区の地方自治法上の位置付けについてどう考えるか。

3 道州制への対応

道州制が導入された場合、都区はどうあるべきか。

4 大都市制度

(1) 特別区の姿

特別区はどのような姿を目指すべきか。いわゆるフルセット型の自治体か、あるいは、相互補完型の自治体か。

(2) 特別区の名称

今回の見直しが行われた場合、特別区の名称についてどう考えるか。

(3) 首都性

特別区の区域が事実上の首都の機能を有することについてどう考えるか。

(4) 適用区域

- ・特別区に隣接する市にも大都市制度を適用すべきか。
- ・大都市制度の適用区域を都心部に縮小すべきか。